

**平成30年度
教育委員会点検・評価報告書**

～平成29年度活動実績～

平成31年3月

四万十市教育委員会

点検及び評価の概要

平成20年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正において、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行うことが義務付けられました。

この教育委員会の点検・評価については、教育委員会の効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会自らが、①毎年、②教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理執行の状況について、③教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ、点検・評価を行うこととし、④その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

この法律に基づき、平成29年度の教育委員会活動の取組み実績について、自己点検・評価を行うこととし、また、評価内容の客観性を確保するため、教育に関する学識経験者のご意見を頂き、「平成30年度教育委員会点検・評価報告書(平成29年度実績)」としてまとめ公表することとしました。

四万十市教育委員会では、これまでに学校教育の充実、教育改革の定着と推進、生涯学習の充実と推進、青少年の健全育成、人権教育の推進、芸術・文化・スポーツの振興などに取り組んできました。

この度の教育委員会の点検・評価制度の実施により、教育委員会自らが事後にその成果や課題を再確認することで、今後の施策改善に反映させるとともに、目指すべき方向についてより具体的なそして効果的な教育行政の推進を図ることとしています。

平成31年3月

四 万 十 市 教 育 委 員 会

平成30年度（29年度対象） 四万十市教育委員会 評価シート

1 自己点検・評価

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議	①開催状況	・ 定例会を会議規則で定めたとおり毎月1回開催、臨時会を11回開催した。	4
		②運営上の工夫	・ 議案、資料を事前に配布し、情報交換を行えるよう努めた。 ・ 教育委員会前後等の時間を利用し、協議や報告事項の確認を行った。	4
	(2) 教育委員会と事務局との連携		・ 適宜、協議を行うなど情報交換、意見交換を行った。より一層の連携を図るために資料収集、情報交換に努めた。	4
	(3) 教育委員の自己研鑽		・ 県教委並びに幡多地教連主催の合同研修会等に積極的に参加し、当市の教育行政に反映できるよう自己研鑽に努めた。	3
	(4) 支援・条件整備	① 学校訪問・支援	・ 9月から11月にかけて25校（小学校14校、中学校11校）の学校を訪問し、学校の状況把握並びに意見交換を行った。	4
		② 所管施設訪問・支援	・ 小中学校の卒業式、運動会に出席し、祝辞等を行った。 ・ 各委員が必要に応じて所管施設等の訪問を行い意見交換を行った。	3
		③ 広報・情報公開	・ 市広報に市教委だより等を掲載し、市教委の取り組み状況等を周知した。	4
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育行政の基本的な方針に関すること		<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度教育行政方針を策定した。 ・ 四万十市子ども読書活動推進計画（第2次）を策定した。 ・ 四万十市立小中学校再編計画検討委員会からの答申を受け、四万十市市立小・中学校再編計画（第2次）案を策定し、中村地域の小学校区単位で地区説明会（13会場）を開催した。 	4
	(2) 教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること		<p><制定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育長職務代理者の事務委任規則 ・ 四万十市立働く婦人の家条例施行規則 ・ 四万十市立スケートパーク使用規則 ・ 四万十市人権教育推進員設置規則 <p><一部改正></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十市立安並運動公園体育施設の管理運営規則 ・ 四万十市立中学校英語検定受験料補助金交付規則 ・ 私有車の公務使用に関する規程 ・ 四万十市教育委員会事務執行基本規程 ・ 四万十市教育委員会文書管理規程 	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
2 教育委員会が管理・執行する事務	(3) 学校その他の教育機関の設置及び廃止等に関すること		<設置> ・東山小学校学童保育施設 ・四万十市立スケートパーク <改築> ・大用中学校屋内運動場 <取得> ・四万十市立文化センター駐車場用地	4
	(4) 職員の任免その他の人事に関すること		・教育長職務代理者の選任並びに事務局各所属における適切な任命等による人事配置が行われた。 ・非常勤特別職員の委嘱及び任命	4
	(5) 議会の議決を経るべき議案の原案決定に関すること		<教育予算の見積もり決定> ・教育委員会事務局各課の予算についての確認	4
	(6) その他教育委員会が管理・執行する事務		・平成29年度(平成28年度活動実績)教育委員会点検・評価報告書の策定	3

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
3 管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 学校教育に関すること	①教育内容・体制の充実	<p><学校再編></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市立小中学校再編計画検討委員会からの答申を受け、四万十市市立小・中学校再編計画（第2次）案を策定し、中村地域の小学校区単位で地区説明会（13会場）を開催した。 <p><学力向上対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県教育版地域アクションプラン等を活用し、市内の小中学校を四万十市の教育改善に向け「オール四万十」として研究推進校の指定をし、学校長のリーダーシップによる授業改善に向けた取り組みや特色ある教育活動の推進など学校の主体的、自立的な取り組みを支援し、学校力・授業力の向上を図った。 ・「全国学力・学習状況調査」、「県版学力定着状況調査」、「到達度把握調査」を実施し、教科担当者会及び教育研究所・研究主事において分析した結果をもとに授業改善を行い、基礎学力の定着と学力向上に努めた。 ・各校において、帯タイムの活用や家庭学習へ取り込んだ。また、積極的に読書活動も推進した。 ・小学校3年生に国語辞典、中学校1年生に英和・和英辞典を一人一冊配布し、活用することにより基礎学力の定着を図った。 ・外国語指導助手（ALT）を2名増員（中村地域6名、西土佐地域1名 計7名）し、小・中学校に派遣を行い英語教育の充実に努めた。 ・中学生の英語検定受験料を補助し、受験機会の拡大を図り、生徒の英語力及び学習意欲の向上に努めた。 ・放課後学習支援員を配置（中村地域7校）し、基礎学力の定着に努めた。 <p><不登校対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校等生徒指導上の課題に対応するためスクールソーシャルワーカーを4名配置して、児童生徒、保護者の相談支援、校内体制の支援に努めた。 ・研究員1名と不登校児指導員を1名増員し4名体制で、学校と連携して不登校児の家庭での学習や教育支援センター（ふれあい学級）での学習の支援に努めた。西土佐地域にもふれあい学級を週2日開級した。 ・教育研究所を拠点に、教育相談を実施するためのアウトリーチ型スクールカウンセラーを配置した。 	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
3 管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 学校教育に関すること		<p><いじめ防止対策></p> <ul style="list-style-type: none"> いじめやネット問題の解決に向けて、市立小中学校の児童・生徒会の代表者が集まり、実践交流や協議を行うことを通し、いじめを容認しない人権意識を形成するとともに、全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを推進することを目的として、いじめストップ四万十子どもサミットを開催した。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県山の学習支援事業（6校） 特別支援教育支援員配置（11校） 学校図書館支援員配置（6校） 児童生徒支援員配置（4校） 中学校体育大会出場補助（6校） 学校支援地域本部事業（5中学校区） 長期宿泊体験活動推進事業（1校） <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	
		②教育条件（環境）の整備	<p><施設整備></p> <ul style="list-style-type: none"> 屋内運動場改築事業改築（中学校1校） <p><学校安全></p> <ul style="list-style-type: none"> スクールガードリーダー5名を配置し、児童生徒の登下校の安全確保に努めた。 小学校新1年生全員に防犯ブザーを配布し、児童の安全確保に配慮した。 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		③学校給食の充実	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校完全給食継続（平成28年4月から中村地域中学校給食開始による） 食材価格の高騰による食材購入費の不足に対応し、適正な学校給食を提供するため、平成29年4月より学校給食費を改定（引き上げ）した。 学校給食センター（スクールミールひがしやま・なかむらみなみ・ぐどう・にしとさ）調理及び配送業務委託の締結（H28.4.1～H31.3.31） 給食食材の地産地消の推進 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		④その他学校教育に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 補導活動の実施 校内研究の充実及び支援 教育相談の充実 各種教育研究大会の開催 西土佐分校への支援 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	3

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
3 管理・執行を教育長に委任する事務	(2) 生涯学習に関すること	①芸術文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・第36回市民大学の開催 (7/16～9/14) ・高知大学出前公開講座in四万十市 (10/20～12/5) ・第13回文化祭の開催 (10/1～11/30) ・第59回美術展の開催 (11/17～24) ・まんが文化振興事業 (6月～3月) ・シルバー教室の開催 9講座 ・中国語講座の実施 (6月～2月 毎週月曜日) ・四万十川国際音楽祭2017の開催 (7月～3月) ・四万十川こども演劇祭2017の開催 (5/23～2/11) ・ふれあいホール自主事業の実施 5回 ・四万十市子ども読書活動推進計画(第2次)策定 ・子ども読書活動の推進 ・ブックスタートの実施 ・図書館利用率の引き上げ ・郷土資料館の展示改修及び躯体改修 ・郷土資料館リニューアル一部オープン (3/10) ・志国高知幕末維新博しまんと特別企画展開催(中央公民館) <p style="text-align: center;">～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		②青少年健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成四万十市民会議への支援 ・青少年育成西土佐会議への支援 ・放課後児童健全育成事業の実施 7校 ・放課後子ども教室等の実施 8校 ・家庭教育支援基盤形成事業の実施 5講座 ・学童保育施設の管理運営 ・第13回四万十市成人式の開催 (1/3) <p style="text-align: center;">～その他「事務報告書」参照～</p>	3
		③社会教育関係団体及び施設の管理と運営	<ul style="list-style-type: none"> ・四万十市連合婦人会活動への支援 ・西土佐体育協会への支援 ・西土佐地区人権教育研究協議会への支援 ・分館活動への支援 (12分館) ・婦人・高齢者学級委託事業 6学級開催 ・四万十楽舎生涯学習委託事業 ・人権啓発事業の実施 12分館地区別学習会 人権フェスティバル ・西土佐ふれあいホールの管理運営 ・指定管理者(文化センター、玉姫さくら館他)の運営継続 ・指定管理者(図書館)による運営継続 <p style="text-align: center;">～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		④文化財の保護活用	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財試掘調査・遺物整理 ・四万十川の文化的景観保全整備活用計画作成 ころそん手帖活用 黒尊川生態調査 ・文化財保護・指定・管理 ・小学校出前事業の実施 	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
		⑤社会体育施設の管理と運営	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者（安並運動公園体育施設等）の運営継続 利用人数148,528人 市民スポーツセンター耐震補強工事 四万十市立スケートパーク整備工事 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		⑥社会体育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 四万十川ウルトラマラソンの開催(10/15) 2,398人 四万十川リバーサイドフルウォークの開催(4/1～4/2) 313人 スポーツ推進委員(21人)の研修の実施 いきいきクラブの開催(5月～3月) 32回 1,436人 スポーツ教室の開催(テニス教室20回 344人・シュノーケリング教室 33人・スポレクチャレンジフェスタ2回 75人・親子スポーツ健康教室 6/3～6/24 90人) 新体力テスト実施 80人 第13回市民総合体育祭 25団体 1,651人(9/1～12/9) 市民ハイキング(3回 116人) 第49回読売中村ロードレース(12/23) 369人 第13回市スポーツ賞の表彰(3/4)(個人33、団体8) 学校開放事業 32施設 40,962人 第27回西土佐駅伝大会 19チーム 113人 第52回分館対抗バレー大会 11チーム 105人 スカッシュバレー大会 16チーム 87人 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		⑦その他生涯学習に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会・公民館運営審議会 4回 文化財保護審議会 1回 四万十市スポーツ推進委員会 2回 中村・西土佐部会 9回 図書館協議会 2回 資料館運営協議会 3回 子ども読書活動推進委員会 3回 西土佐ふれあいホール運営委員会 2回 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	3

《評価の目安》

評価ポイント	評価の目安
4	達成しているといえるもの
3	概ね達成しているといえるもの
2	あまり達成しているとはいえないもの
1	達成しているといえないもの

2 自己点検・評価に対する意見（学識経験者の知見）

評価者名	大 林 郁 男
<p>平成30年度教育委員会の自己点検・評価については概ね妥当なものと判断します。</p> <p>昨年の評価と比較しますと評価点数の増減項目はありませんが、大項目〔2.教育委員会が管理執行する事務〕教育行政の基本的な方針に関することでは、市立小中学校再編計画検討委員会からの答申を受け、第2次再編計画案の策定、そして地区説明会の開催等がされており、重要課題が検討段階から推進段階の取り組みに入ったことを感じさせます。また同項目には、子ども読書活動推進計画（第2次）の策定も盛り込まれ、地道な取り組みもまた進められていることを伺わせます。</p> <p>その他、大項目〔3.管理執行を教育長に委任する事務〕の(1)学校教育に関するもののうち、①教育内容・体制の充実の内容として、いじめストップ四万十子どもサミットの開催などがあり、いじめ防止のこれまでの取り組みを踏襲して、継続的に行われたことを評価したいと思います。</p> <p>また、③学校給食の充実については、学校給食費の改定（引上げ）がありますが、その質の維持向上のため、あえて踏み込む必要があったものと推察します。</p> <p>(2)生涯学習に関すること①芸術文化の振興では、郷土資料館の改修、そしてそのリニューアル一部オープンと、これまでの郷土資料館運営の停滞打破に向けての取組が具体的にみられ、今後の運営に大いに期待するものです。</p> <p>今後も教育委員会の取り組み内容が停滞や後退することなく、より良い成果が得られるよう積極的に取り組みされることを要望しておきます。</p>	

評価者名	阿 部 統 洋
<p>平成30年度 教育委員会の自己点検・評価について概ね妥当なものであると判断します。</p> <p>○教育委員会の活動について</p> <p>市立小・中学校再編検討委員会からの答申を受け、第2次再編計画案を策定し、中村地域13会場での地区説明会が開催されています。学校規模の適正化や教育環境のよりよい整備、充実など大きなエネルギーのいる取り組みが続くものと考えられます。平成29年、前任者の辞任による新教育長の就任という節目を迎えてのこの新体制が今後、より活発な教育委員会活動を展開していかれるものと期待しています。</p> <p>○不登校対策について</p> <p>生徒指導上の課題に対応するためSSWを4名配置し、児童・生徒、保護者及び校内体制の支援に努めており、また、学校との連携による不登校児の家庭やふれあい学級での学習支援に、研究員1名と平成28年度3名だった不登校児指導員を1名増員し4名体制で対応するなど、より手厚い不登校児対策を実践していることが分かります。平成28年度10月から開級された西土佐地域のふれあい学級も週1回を2回に増やしており、この地域での不登校児支援が更に充実したものになると評価出来ます。</p> <p>○いじめ防止推進事業について</p> <p>平成27年度に第1回目が開催された「いじめストップ四万十子どもサミット」が、平成29年度第2回目を迎え、平成28年度のいじめ問題講演会も含めて四万十市が毎年いじめ問題に積極的に取り組んでいることがよく分かります。高知県主催の事業への参加など、四万十市いじめ問題対策連絡協議会を中心に、児童・生徒が主体となり、安心して学校生活を送る事が出来る環境づくりを推進する取り組みが継続していると評価します。</p>	

○学校給食について

平成28年4月からの中学校給食開始により、市内小・中学校完全給食が実施されています。平成29年4月から食材価格の高騰により給食費が上げられたことについて、適正な学校給食の提供という大義があるにせよ、あまり好ましい状況ではありません。市をあげて実施した学校給食が思わぬ保護者の負担増とならないよう多方面から対策を考え、最低でも現状維持に努めることが望まれます。

○生涯学習に関することについて

平成26年度から平成29年度までの中央公民館利用者数の推移を見ますと、平成26年度から順に、88,327人、82,466人、83,756人、68,361人と約2万人減っており、特に平成28年度から29年度にかけては1万4千人余り減少しています。中央公民館の施設の状況や図書館等の他施設の利用者増などもあり、単純に利用者数だけで状況を判断出来るものではありませんが、気になる数字です。

